

# 環境デイスカッション

1972年6月5日にストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念して、国連はこの日を「世界環境デー」と決めました。これを受けて環境省では、6月を環境月間とし、6月3日にエコライフ・フェアを開催するなど、私たちに環境について訴えかけています。

しかし、暑い夏が始まった現在、みなさんはきっと6月が環境月間であったことも知らず、エアコンをバンバンつけ、燃えるゴミ、燃えないゴミを区別せずにポイポイ捨ててしまう生活を送っているのではないのでしょうか。

環境について学ぶために、学生委員会では『名古屋市リサイクル推進センター』に見学



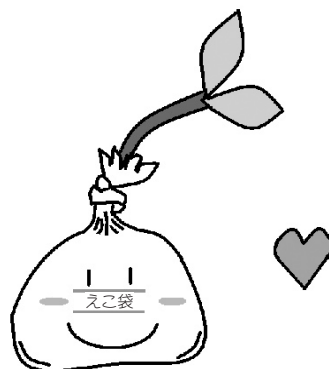
リサイクル推進センター  
の前で集合写真

## 1. 名古屋市リサイクル推進センターに行く前に 知っておこう、環境とリサイクルの章！

環境問題といっても、地球温暖化や酸性雨、ゴミの廃棄問題などさまざまです。しかし、そういった環境問題がすぐ身近にありながらも、具体的にどれくらい悪いのかと問われると分からないのが実情ではないのでしょうか。ここでは、身近な環境問題であるゴミ問題について少し取り上げたいと思います。

### ① ゴミ問題とは

ゴミ問題を一言でいうと「ゴミめっちゃめっちゃ増えてるやん!! このまま増えてくとヤバイじゃね!?!」ということです。ゴミって要するにもう必要のないものですよ。そういったものを燃やし、灰にして埋め立てる。聞いているだけでも環境に悪そうじゃありませんか。そして実際悪いんです。これがゴミ問題です。



## ② ゴミ問題の原因

ゴミ問題の原因として最も一般的に考えられているものは、「大量生産、大量消費、大量廃棄の生活様式」です。要は、使い捨ての商品ばかりだからゴミが増えてしまうというわけですね。

ゴミの捨てようは  
計画的に

## ③ 対処策&対策

増えすぎてしまったゴミをどうすればいいか。捨ててしまったゴミを消すことはできないのです。ならどうするか。そんなのこれ以上ゴミを増やさないようにするしかないじゃないですか。そこで、ゴミを減らすためにある、3Rの概念を紹介したいと思います。

3Rとは、「リデュース」「リユース」「リサイクル」の頭文字をとったもので、ゴミ問題に対して私たちができることを示したものです。

### 1. リデュース (Reduce) …… ゴミを出さない

つい最近まで、日本に限らず世界の経済は高度経済成長期でした。その背景に、大量生産・大量消費といった物量に頼った市場（物質至上主義）があったのは皆さんご存知のことと思われる。しかし、経済が落ち着いてきた現在そういった市場のあり方が地球の環境を悪化させる原因だという声があがってきました。そこで、大量消費を改めて、使う量を制限（発生抑制）して必要分だけ使おうという考え方がリデュースなのです。

### 2. リユース (Reuse) …… もう一回使おう

上記のとおり、大量生産・大量消費の経済は使いそうなものでも、捨て、新しいものを購入していました。これに対して、いらなくなったものをそのまま、もしくは修理などして再利用するのがリユースです。

### 3. リサイクル (Recycle) …… 使い変えよう

最も一般的、積極的に行われているのがこのリサイクルです。いらなくなったものを捨ててしまうのではなく、収集して分別し別のものとしてまた使おうということです。この点が、リユースと大きく異なっています。

最近では、この3Rに熱回収 (Retrieve energy)、適正処分 (Reasonable management) を加えて5Rとする考え方が広まってきているようです。また、平成12年には循環型社会形成推進基本法が制定され、国を挙げてリサイクル、ゴミ問題の対処に動き出しているのです。

## ④ 循環型社会形成推進基本法とは

循環型社会とは、「ゴミを減らして、資源やものを大切に使う社会」のことです。上で紹介した3Rとはこのような社会を作り上げていくのに必要な考え方のことです。そしてこの社会を作るために国が提案したのが「循環型社会形成推進基準法」なのです。

みなさんもお存知のように、資源には限りがあります。そして、私たち日本人は**1日1kgのゴミを出している**といわれています。そして、大量のゴミの廃棄によりゴミを埋め立てする場所が不足してきているのも現状です。だからこそ、そうならないようみんなで3Rを実践し、循環型社会を作っていく必要があるのです。



## 2. 名古屋市リサイクル推進センター 大冒険の章！

6月11日に、僕たち生協学生委員は、「名古屋市リサイクル推進センター」に環境について学びに行ってきました。

「駅近だから」と言われて上前津の駅に開館30分前に集合しました。しかし、リサイクル推進センターは、な、なんと駅の改札口のまん前！開館までの30分間いったい何をして過ごせばいいのでしょうか。(汗)

### ☆リサイクル推進センターの取り組み☆

担当してくれたボランティアの人たちは、市やセンターの取り組んでいる環境対策について説明してくれました。

#### エコクーピョン

レジで貰うビニール袋の節約の対策です。これは買い物の際に、自分でレジ袋を断るとシールが貰え、20枚で50円分の商品券になるというものです。たったそれだけで効果があるのかと思ったのですが、現に2年半で2600万枚ものシールが配られたようです。驚きました。

#### リユース家具のオークション

リサイクル推進センターのHPを通して行われています。センター内にはそれらの現物が展示されており、それをみた学生委員からも「欲しい！」との声が上がっていました。商品の外観は綺麗で、値段も安いです（小さい本棚が1個200円前後）。下宿生の方々も、一度見に行っではどうでしょうか？

#### センターの展示品コーナー

リサイクル推進センターには、地元の小中学生や民間の人々が作ったリユース商品が展示されています。例えば、壊れた傘の柄を取り除いたビニールの部分で作ったポンチョや、曲がったねじとかで作ったおもちゃなどです。こういった一度捨てられそうになった物が、どれも綺麗に生まれ変わっています。

他にも、生ごみや紙パック、ペットボトルのリサイクル工程の紹介、遊具などを通じてものの循環の仕組みを分かってもらうコーナーなどもあります。

#### 地域間での活動

フリーマーケットを開催する団体に、経費の一部を助成し、不用品の有効活用を地域間に推進させています。また、インターネットを通して、家庭から出る不要品の情報交換サービスを行って、捨てられるゴミの削減に向けた活動も行っています。



# ★3Rの取り組みを調べる★

今回、私たちが取り組んだワークショップの目的は、自動車などの消費財についての3Rの取り組み状況を調査し、それをプレゼンテーションすることでした。

3班に分かれ、それぞれの班が調べる消費財を選びました。今回私たちが選んだテーマは「自動車」「パソコン」「住宅」です。どれもさまざまな部品、材料が混ざり合っている消費財です。

# ★調べてわかる3R★

各班が1時間に渡ってそれぞれのテーマについて、インターネットやセンターにあった資料を用いて、3Rの状況について調べました。調べた内容について、自分が知っていることはともかく、意外にも知らないことが多いことに気付かされます。始めは「調べる必要があるのだろうか?」と思っていましたが、こうして調べることによって、リサイクルの奥深さを知ることができました。

そして、発表の時間。自分たちが調べたことの発表と、他の2班の発表を聞く時です。発表を聞く上でも、他の班が調べた内容にもまた、自分の知らなかった3Rの取り組みが数多く存在することを実感しました。3Rは調べて分かるだけでなく、聞いて分かるものでもあるのです。



センターでプレゼンする学生委員

わずか2時間という短い時間でしたが、多くのことを学びました。環境に良いことをするには、意識を持ってやっていくことが大切です。そして、自分が動こうとすることが何よりの第一歩なのです。

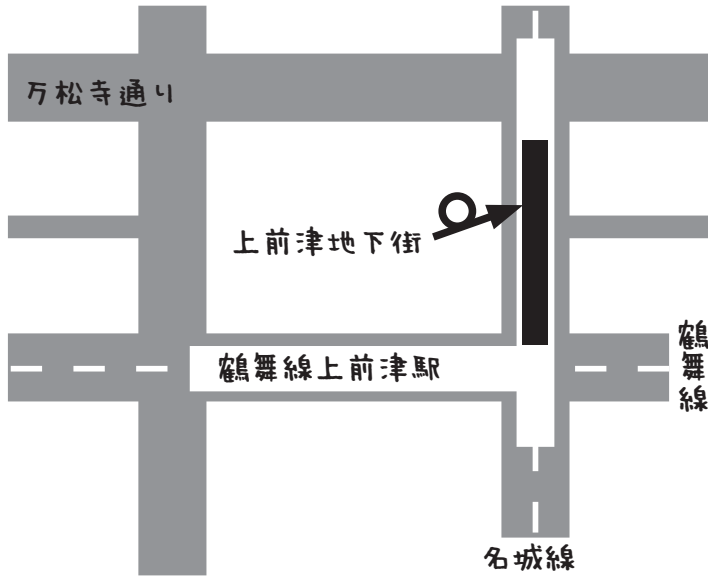
## ゴミ問題ク〜〜イズ!!!

- (1) 日本のゴミの総排出量ってどれぐらいかな?
- (2) リサイクルされたゴミはどれぐらいかな?
- (3) ゴミの処理に掛かるお金、年間どれぐらい使っているのかな?

(3) 2兆6029億円 (20500 円 / 人)

答え (1) 5210 万トン (1.1 ㎏ / 人) (2) 825 万トン (リサイクル率 15%)

## 名古屋市「サイクル推進センター」への道順



地下鉄「上前津駅」下車  
名城線北改札口を出てすぐのところ（上前津地下街内）にあります。  
最寄の出口は1・12番出口。

開館時間：AM10時～PM6時  
休館日：毎週月曜日と  
12/29～1/3の  
年末年始

TEL：(052) 231-5300

FAX：(052) 231-5308

Mail：recycle@ppp.

bekkoame.ne.jp

### 3. まとめ

さて、以上を読んで環境問題について皆さんも何らかの感想を抱いたと思います。けど、いったい自分に何ができるのかそれがわからない人もまた多いのではないのでしょうか。そんなみなさんに、ここで9月に行われる環境デーについて紹介したいと思います。

#### 環境デー

9月17日の午前10時～午後4時にかけて、栄の久屋大通で「環境デー」というイベントが開催されます。ここでは、市民・事業者・行政がそれぞれの環境に対する成果を持ち寄り「CO<sub>2</sub>削減」などの提案を行ったり、市民・NPOの創意を生かしたミニイベント、愛・地球博の成果を今後継承・発展させるなどといったことを行います。

こういうと堅苦しいイベントのようにも思われますが、実際やることは小難しいことはありません。企業や市民の皆さんがブースを出して、ちょっとしたお祭りみたいなものが開催されます。例えば、「リユースひろば」といったリユースを実践するブース。明日の地球を担う子供たちが、エコカーなどを通じて環境について楽しく学んでもらったりするブースなどがあります。

興味深く、面白いのでぜひみなさんも足を運んでみてはいかがでしょうか。

これを読んで、少しでもゴミ問題に興味を持っていただければ幸いです。たとえば、名工大では、燃えるゴミ、燃えないゴミ、資源ゴミ（缶、ペットボトル、古紙、ダンボール）を分けて収集しています。

一人一人にできる事はたいした事ありませんが、せめてゴミを分別して捨てるということに気をつけるだけで、ゴミ問題の解決に対処してるともいえるのです。さあ、あなたも今日から環境に気をつけた生活を送りましょう。

